

[プロフィール]

Profile

金山 祥子...ソプラノ

呉羽高等学校音楽コース卒業。国立音楽大学声楽科卒業。ベルリン国際音楽フェスティバル「葵の上」侍女、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、日本初演「ルイズ」ブランシュ等オペラに出演。2004年、イタリア・マントヴァ音楽大学での声楽セミナーに参加。長江杯国際音楽コンクールで多数入賞。4オクターブの幅広い音域持ち活躍。東京オペラプロデュース・メンバー。現在、竹田千津子氏に師事。

佐々木 ゆき子...ピアノ

呉羽高等学校音楽コース、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学研究科修了。ピアノ教育連盟オーディションにおいて入賞者演奏会に出演。ヤングアーティストピアノコンクール金賞。富山県新人演奏会において北日本新聞音楽奨励賞受賞。演奏活動と共に後進の指導にあたる。富山市においてピアノ教室を主宰、富山福祉短期大学非常勤講師。

高尾 静佳...ソプラノ

呉羽高等学校音楽コースを卒業。2009年 第26回富山県青少年音楽コンクール声楽部門高校の部最優秀賞。2010年 第64回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部大阪大会第1位、同コンクール全国大会入選。現在東京藝術大学音楽学部声楽科5年に在学中。これまでに歌を申田淑子、福島明也、土田聡子の各氏に師事。

西田 有沙...ソプラノ

呉羽高等学校音楽コースを卒業。現在武蔵野音楽大学声楽学科2年に在学中。平成26年度福井直秋記念奨学生。これまでに声楽を碓井智子、谷友博の各氏に師事。

大江 航平...ドラム

洗足学園音楽大学在学中はジャズドラムを原大力、大坂昌彦、松山修の各氏に師事。中学時代にアートプレイキーの演奏を聴き魅了された事をきっかけにジャズドラムを始める。大学卒業後、より新しい音楽を追求、研究しながら都内を中心に活動中。

内山 知子...ヴァイオリン(賛助出演)

東京音楽大学卒業。モスクワにて室内楽演奏会、東京、浜松にてコンサートに出演。ドイツでの音楽アカデミーに参加。現在、室内楽、オーケストラを中心に活動。また、後進の指導にもあたる。

ハ田 尚子...ピアノ伴奏

国立音楽大学ピアノ科卒業。ウィーン市立音楽院に留学し、ディプロム優秀賞得て卒業。ウィーンにてリサイタルを開催し、帰国後NHK-FMリサイタルに出演。現在アンサンブルピアニストとして演奏活動を行っている。海上自衛隊東京音楽隊ピアノ講師。

村上 麻理...ピアノ伴奏

洗足学園音楽大学ピアノ専攻卒業。同大学専攻科修了。黒田素子/横山幸雄/加藤徹の各氏に師事。富山県ピアノ指導者協会委員/合唱団おおやま/立山町合唱団「コロバストラール」ピアニスト。

上坂 愛美...ピアノ伴奏

呉羽高等学校音楽コース卒業。現在、武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科4年次在中。来年度より同大学院博士前期課程(修士課程)器楽専攻ヴィルトゥオーソコースに進学予定。ピアノをE.アッシュケナー、伴奏法を三ツ石潤司の各氏に師事。

浦上 由梨...ピアノ伴奏

呉羽高等学校音楽コースを卒業。2012年 第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会第5位入賞。現在新潟大学教育学部2年に在学中。これまでにピアノを大島優子、大林規子、藤井晶子の各氏に師事。

内山 太一...合唱指揮

バリトン(賛助出演)

武蔵野音楽大学声楽科卒。ミュンヘン国立音楽大学卒。シューベルトの三大歌曲集をはじめとするコンサートやオペラなどに数多く出演。合唱団「おおやま」をはじめ、数多くの合唱団を指導。元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。声楽研究グループ大地の会主宰。

合唱団おおやま

平成7年8月に旧大山町民を中心に結成。翌8年8月に第1回演奏会「夏のメサイア」を公演。以来、毎年富山市大山文化会館においてオーケストラとの共演による公演を重ね、今年2月14日に結成20周年記念第20回演奏会としてモーツァルトのレクイエムなどを演奏した。あなたも一緒に歌いませんか。

富山国際学園 吹奏楽団

私たちは昨年度から「富山国際学園吹奏楽団」として新たな一歩を踏み出し、富山国際大学 呉羽キャンパス吹奏楽部、富山短期大学吹奏楽部と共に、様々なイベントに参加し、お互い協力し合ってきました。今年度はなんと18イベント17ステージもの行事をさせていただき大変喜ばしい限りです。今回のステージでは中央農業高校、上滝中学校の皆さんと合同演奏をします。この演奏会の最後のステージを盛り上げ、精一杯頑張りたいとおもいます。

富山県立中央農業高等学校 吹奏楽部

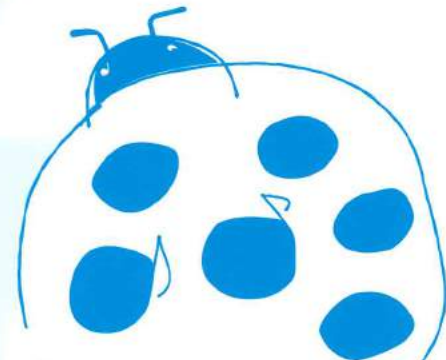
広大な敷地には、牛やヤギ、犬などの動物、シクラメンなどの花ハウス、野菜や米を育てる田畑。中央農業高校は、自然豊かな環境にあります。県内でも珍しい寮生活を送りながら、吹奏楽部は毎日楽しく活動しています。部員は12名と少ないですが、楽しい音楽をお届けできるように、演奏させていただきます。

片山学園中学校・高等学校 吹奏楽部

現在中学生33名、高校生10名の計43名で活動しています。短い部活動時間の中、時間の有効活用を意識し、人を魅了する演奏を目指し活動しています。本年度は夏のコンクールで、県代表、北陸代表に選ばれ、第15回東日本中学校吹奏楽大会に出場することができ、演奏面や行動面で大きく成長に繋がりました。また、今年も3月26日に富山県民会館で第3回定期演奏会を開催しますので、本日ご来場の皆様にも、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

富山市立上滝中学校 吹奏楽部

私たち上滝中学校吹奏楽部は、2年生12人、1年生8人の20名で活動しています。始めは不安や心配こともたくさんあり、まとまりのなかった私たちですが、様々な行事やコンクールを通して、ときにぶつかり合い、共に支え合い、地域の方々に見守られながら少しずつ成長してきました。今日は、上滝中学校吹奏楽部を日頃から応援いただいている皆様へ感謝の気持ちを込めて演奏します。



2016. 3.13日
開場/13:30 開演/14:00
富山市大山文化会館

第13回 春まちコンサート

(主催) 富山市 / 春まちコンサート実行委員会 (後援) 北日本新聞社 / 北日本放送 / ケーブルテレビ富山

✿ ピアノとヴァイオリン

佐々木 ゆき子…ピアノ
内山 知子…ヴァイオリン

1 ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 作品78 「雨の歌」第1楽章

作曲：ヨハネ・ブラームス

ブラームスが作曲した3曲のソナタの中の第1曲。柔らかで抒情的な主題ではじまり、次第にヴァイオリンとピアノが絡み合い豊かな響きを作り歌い上げるとも美しい作品である。

2 前奏曲とアレグロ

作曲：クライスラー

オーストリア出身の作曲家であり自身も優れたヴァイオリニストであったクライスラーは愛の喜び、愛の悲しみ等多くの作品を残している。力強い冒頭部分で始まり、その後技巧的な変奏曲が続き、重音を駆使したフレーズによって劇的なクライマックスへと向かう作品である。

✿ ソプラノ独唱

西田 有沙…ソプラノ
浦上 由梨…ピアノ伴奏

3 さびしいカシの木

作曲：木下 敦子

山の上にいっぼんで立っているカシの木。「さびしい」という感情には、きっといろんな形があると思います。そっと心に響いてくるような優しい詞は、「アンパンマン」の作者としても有名な、やなせたかしさんによって書かれたものです。

4 献上

作曲：シューマン

シューマンが結婚前夜、妻となるクララに捧げたこの曲には、シューマンにとってクララがどのような存在であるか、どれほど愛しているかが、あらゆる言葉と生き生きとした旋律で表現されています。後奏にはシューベルト作曲の、有名な「アヴェ・マリア」の旋律がはっきりと引用されて現れます。

5 私の愛の日々

作曲：ドナウディ

大切な人との穏やかな日々。愛を知った今、貴方が私の心に平和を与え、貴方の微笑みは私の宝物の全て。温かい愛に溢れた旋律とピアノ伴奏は、静かな中にも強さが感じられ、とても魅力的です。

✿ ソプラノ独唱

高尾 静佳…ソプラノ
上坂 愛美…ピアノ伴奏

6 髪

作曲：中田 喜直

原簿あき子さんによる作詞はとても女性らしく美しい言葉が並べられています。女性が一人、鏡台の前で髪を梳いているような場面。ソプラノの高音が伸びやかに響く、幻想的で美しい日本歌曲です。

7 オペラ「キャンディード」より 着飾って煌びやかに

作曲：バーンスタイン

キャンディードはかの有名なブロードウェイミュージカルの最高傑作『ウエストサイドストーリー』を書きあげたバーンスタイン氏による作品です。大金持ちのユダヤ人とパリの大司教という2人の困われ者となったクネゴンデが、わが身を悲しみながらも、数々の豪華な宝石を身にまとい、明るく前向きに生きていこうとする姿勢を歌ったオペラ風の Aria です。

✿ バリトン独唱

内山 太一…バリトン
八田 尚子…ピアノ伴奏

8 彼女に告げてよ

作曲：ファルヴォ

1930年にイタリアのナポリで開催された音楽祭で優勝した作品。好きな女性に告白したい、けれどもなかなか出来ない男性が「告げて下さいあの人に、私が彼女を燃えるように愛している事を」と、切々と歌う代表的なナポリ民謡。

✿ ソプラノ独唱

金山 祥子…ソプラノ
八田 尚子…ピアノ伴奏

9 サルビア

作詩：堀内 幸枝 / 作曲：中田 喜直

語り口調で綴られ、サルビアの真紅が呼び起こす激しい女の情念を表した詩、ドラマチックなピアノ伴奏、情熱的なメロディーと、各々が絶妙に融合し、鮮烈な印象を醸し出す官能的な歌曲。花言葉は「燃ゆる想い」

10 オペラ「蝶々夫人」より ある晴れた日に

作曲：フッチーニ

舞台は明治時代の長崎。アメリカの海軍士官ピンカートンは蝶々さんと結婚して間もなく帰国してしまい、3年の歳月が流れた。ピンカートンがもう蝶々さんのもとに帰ってこないのではと心配する女中スズキに、彼は必ず帰ってくると、強い信念を持って切々と歌って聞かせる名曲である。

11 オペラ「蝶々夫人」より 可愛い坊や

作曲：フッチーニ

アメリカの軍艦が入港し、とうとう帰ってきたと喜ぶ蝶々さんのもとに現れたのは、ピンカートンの妻ケイトであった。蝶々さんの子供を引き取りに来たのだ。全てを悟り、覚悟を決めた彼女は子供を渡す事に同意する。「愛しい坊や、母さんの顔を覚えておいてね。」と別れを告げ、自害する。

✿ 合唱

合唱団おおやま
内山 太一…指揮
村上 麻理…ピアノ伴奏

12 レクイエムより ラクリモーザ

作曲：モーツァルト / 補作：ジュスマイヤー

ラクリモーザ(涙の日)はレクイエム(死者のためのミサ)の中の1曲で、モーツァルトの絶筆とされる。モーツァルトが書いたのは8小節までで、モーツァルトの死後、弟子のジュスマイヤーによって完成された。

13 出発の歌

作詞：及川 恒平 / 作曲：小室 等 / 編曲：信長 貴富

1971年発売。上條恒彦と六文銭の曲。同年のヤマハ音楽振興会主催「第2回世界歌謡祭」でグランプリを受賞し、翌年にかけて大ヒットした。

14 ヘイ・ジュード

作詞・作曲：レノン=マッカートニー / 編曲：倉知 竜也

1968年発売のビートルズの曲。ジョン・レノンの離婚に際し、ジョンの5歳の息子ジュリアンを励ますためにポール・マッカートニーが書いた曲。だから、最初は「Hey Jules」というタイトルだった。

休憩

✿ 吹奏楽

片山学園中学校・高等学校 吹奏楽部
石川 紘一郎…指揮

15 マードックからの最後の手紙

作曲：樽屋 雅徳

マードックは、世界最大の豪華客船タイタニック号に乗船していた1等航海士であり船が沈む最後の瞬間まで乗客の救出にあたった人物です。彼の最後の手紙には、船上からの美しい眺めや、乗客でにぎわう船内の様子、そして事故を予感させるアクシデントについて書かれていたかもしれません。曲はアイリッシュ調のメロディで、曲調の変化が多く、冒頭の主題がクライマックスでもう一度出てくるところがとても感動的です。

16 宝島

作曲：和泉 宏隆

吹奏楽曲の定番となっているこの曲は、元々は日本のフュージョングループ、T-SQUAREの曲。吹奏楽版の特徴はサンバの軽やかなリズムで、発表から約30年経つが、今も全国の吹奏楽演奏会で演奏され続けている。楽しんで演奏するので会場の皆様にも楽しんでいただきたいと思います。途中のアルトサクスのソロにもご注目ください。

✿ 吹奏楽

富山国際学園 吹奏楽団
富山県立中央農業高等学校 吹奏楽部
富山市立上滝中学校 吹奏楽部

上坂 博亨…指揮
大江 航平…ドラムソロ

17 エル・クンバンチェロ

作曲：ラファエル・エルナンデス / 編曲：福田 洋介

この曲はプエルトリコ出身のラファエル・エルナンデスが作曲したラテン系ポップスです。日本では高校野球の応援歌の定番としてや、フィギュアスケートのプログラム曲などでも知られています。曲名の「エル・クンバンチェロ」には「杯を叩いてお祭り騒ぎする人々」という意味があるそうです。

18 私のお気に入り

作曲：Richard Rodgers / 編曲：宮川 彬良

傑作ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』がブロードウェイで初演されたのは、1959年のことでした。その時から、「サウンド・オブ・ミュージック」「ドレミの歌」「ひとりぼっちの山羊飼」などのナンバーは高い人気を得ていましたが、「私のお気に入り」の人気はいまひとつでありました。この曲は、ジャズ・サクスの巨匠、ジョン・コルトレーンが「マイ・フェイバリット・シング」でカバーしたことで高く評価され、同時に「私のお気に入り」という曲にも注目が集まり始め、あらゆるジャンルのミュージシャンがこの曲が取り上げるようになりました。

19 愛するデューク

作曲：S.Wonder / 編曲：岩井 直湾

1976年に発売されたスティービー・ワンダーのアルバム「キー・オブ・ライフ(Songs in the key of life)」からセカンドアルバムとしてリリースされ、全米ポップ・チャートとR&Bチャートの両方で1位を獲得した曲です。スティービー・ワンダーが尊敬するジャズミュージシャン、デューク・エリントンに捧げた曲で、特徴のあるホーン・セッションのフレーズに、その思いを強く感じることができます。

✿ 合唱ステージ

みんなて歌おう

20 世界がひとつになるまで

作詞：松井 五郎 / 作曲：馬飼野 康二

